

平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月28日

上場取引所 大

上場会社名 日本プロセス株式会社

コード番号 9651 URL <http://www.ipd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大部 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括

(氏名) 久保 裕

TEL 03-5408-3351

四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日

配当支払開始予定日

平成24年2月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	2,064	△4.2	△14	—	7	52.8	△6	—
23年5月期第2四半期	2,154	△3.0	△15	—	4	△95.1	△14	—

(注)包括利益 24年5月期第2四半期 △5百万円 (—%) 23年5月期第2四半期 △14百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	△1.18	—
23年5月期第2四半期	△2.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年5月期第2四半期	8,577	—	8,013	—	93.4
23年5月期	8,820	—	8,102	—	91.9

(参考)自己資本 24年5月期第2四半期 8,013百万円 23年5月期 8,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年5月期	—	15.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	2.4	260	11.4	300	△11.2	165	△15.1	29.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期2Q	5,745,184 株	23年5月期	5,745,184 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年5月期2Q	200,092 株	23年5月期	200,092 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期2Q	5,545,092 株	23年5月期2Q	5,545,102 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からのサプライチェーンの立て直しや震災後に減少した海外在庫の復元のためなどにより生産や輸出は持ち直しているものの、海外経済の減速の影響などから経済全体の回復ペースは緩やかになっております。情報サービス産業におきましても、企業のIT投資に対する慎重な姿勢は継続しており、ソフトウェア投資も概ね横ばいとなっております。

こうした環境の中、当社グループの一部顧客においても、生産計画の見直しや事業再編などが加速し、特に組込システムの受注については計画を大幅に下回る見込みとなったため、ITサービスなど好調な事業分野の体制と営業を強化し、全体計画の達成を図ってまいりました。

また、当社グループは、ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることにより顧客に最大のメリットを提供するというトータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス (T-SES) を実現するために、社会インフラを戦略分野として、受注拡大のための営業強化、当社のマネジメント力を活かすための請負範囲の拡大、実務を通じた人材の育成等を重点施策として実施してまいりました。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は2,064百万円（前年同期比4.2%減）、営業損失は14百万円（前年同期比3.8%減）、経常利益は7百万円、（前年同期比52.8%増）、四半期純損失は6百万円（前年同期比53.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①制御システム

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムの開発や関連ツールの開発が国内、海外とも好調を維持し、発電所制御装置のミドルウェア開発や環境運用計算機の開発等も堅調に推移しました。また、自動車向けでは環境対応車等の制御システム開発は堅調に推移しておりますが、カーナビ等車載システムの開発はタイの洪水の影響等により大きく受注を減らしました。

この結果、売上高は511百万円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は128百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

#### ②交通システム

交通システムでは、新幹線や在来線の運行管理システムの受注は横ばいで推移しましたが、東京圏の次期システムが予定以上に開発コストがかかり不採算となったため利益は減少しました。また、売上はプロジェクトの請負化が進むことで、下期に検収が増える傾向にあります。

この結果、売上高は317百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は48百万円（前年同期比39.1%減）となりました。

#### ③特定情報システム

特定情報システムでは、衛星画像の地上システムや画像解析等のシステム開発は受注を大きく減らしましたが、危機管理分野の中でも防衛関連で大型システムのリプレースが始まっており、今後も堅調な受注が見込まれています。しかし、プロジェクトの大型化に伴い検収が翌年度になる等、当事業年度においては仕掛が増え売上は抑えられる傾向にあります。

この結果、売上高は153百万円（前年同期比40.4%減）、セグメント利益は8百万円（前年同期比80.8%減）となりました。

#### ④組込システム

組込システムでは、これまで主力であったフィーチャーフォン向けシステム開発が終了し、スマートフォンやストレージデバイス等の組込システムの開発に移行しました。開発量は伸長しているものの、まだ十分な規模の確保には至っておりません。その他、情報家電やデジタル複合機の組込システム開発は概ね横ばいで推移しました。

この結果、売上高は329百万円（前年同期比40.4%減）、セグメント利益は8百万円（前年同期比90.8%減）となりました。

#### ⑤産業・公共システム

産業・公共システムでは、鉄道事業者向けの設計支援業務は堅調に推移し、自動改札の改造案件や非接触ICカードのシステム開発を受注するなど順調に推移しました。

この結果、売上高は272百万円（前年同期比27.7%増）、セグメント利益は61百万円（前年同期は0百万円のセグメント損失）となりました。

#### ⑥ITサービス

ITサービスでは、検証業務はこれまで内製化を進めていた顧客からの発注が戻り始め緩やかに回復しました。構築業務は特定製品を中心とした構築から顧客ニーズに沿った構築支援業務に軸足を移したことにより引き合いが増加し高い稼働率となりました。保守・運用では過去に取引のあった顧客からの一時的な受注がありましたが、概ね横ばいの状態となっております。

この結果、売上高は479百万円（前年同期比35.4%増）、セグメント利益は119百万円（前年同期比318.7%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### （総資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて243百万円減少して、8,577百万円となりました。これは、仕掛高が213百万円増加したのに対し、現金及び預金が428百万円減少したこと等によります。

### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて154百万円減少して、563百万円となりました。これは、未払法人税等が減少したこと等によります。

### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて88百万円減少して、8,013百万円となりました。これは、配当金の支払い等によります。

1株当たり純資産額は1,445円18銭です。

### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて728百万円減少して、1,276百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、125百万円（前年同四半期は187百万円の使用）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、520百万円（前年同四半期は149百万円の獲得）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、83百万円（前年同四半期は82百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払いによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、震災の復興景気が期待される一方、海外景気の下振れ懸念やタイの洪水の影響、長期化する円高等国内景気にも不安材料が存在する等があり、不透明な状態が継続しております。

通期の業績予想につきましては、平成23年7月7日公表の平成24年5月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,914,953	3,486,827
受取手形及び売掛金	1,561,562	1,313,960
有価証券	1,757,380	1,958,771
仕掛品	113,748	326,888
繰延税金資産	168,714	171,744
その他	54,849	94,461
貸倒引当金	△189	△376
流動資産合計	7,571,020	7,352,278
固定資産		
有形固定資産	254,941	247,199
無形固定資産	91,594	76,913
投資その他の資産		
投資有価証券	650,773	647,977
その他	251,990	252,851
投資その他の資産合計	902,763	900,829
固定資産合計	1,249,300	1,224,941
資産合計	8,820,320	8,577,219
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,356	28,586
未払法人税等	89,207	21,996
賞与引当金	321,659	281,460
その他の引当金	15,377	12,880
資産除去債務	—	3,843
その他	195,015	163,713
流動負債合計	661,616	512,479
固定負債		
引当金	52,115	49,938
資産除去債務	3,843	—
その他	96	1,140
固定負債合計	56,054	51,078
負債合計	717,670	563,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,463,278	4,373,544
自己株式	△175,248	△175,248
株主資本合計	8,101,287	8,011,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,362	2,109
その他の包括利益累計額合計	1,362	2,109
純資産合計	8,102,649	8,013,661
負債純資産合計	8,820,320	8,577,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	2,154,648	2,064,389
売上原価	1,779,334	1,710,951
売上総利益	375,314	353,438
販売費及び一般管理費	390,548	368,097
営業損失(△)	△15,234	△14,659
営業外収益		
受取利息	13,375	14,061
保険解約返戻金	2,107	4,758
その他	4,501	3,100
営業外収益合計	19,984	21,919
経常利益	4,750	7,260
特別利益		
その他	377	—
特別利益合計	377	—
特別損失		
固定資産除却損	1,563	47
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,157	—
その他	1,941	—
特別損失合計	10,662	47
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,535	7,212
法人税、住民税及び事業税	9,478	14,693
法人税等調整額	△922	△921
法人税等合計	8,555	13,771
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△14,090	△6,558
四半期純損失(△)	△14,090	△6,558



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△14,090	△6,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△894	746
その他の包括利益合計	△894	746
四半期包括利益	△14,984	△5,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,984	△5,811
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,535	7,212
減価償却費及びその他の償却費	29,124	28,378
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	1,563	47
資産除去債務会計基準適用に伴う影響額	7,157	—
受取利息及び受取配当金	△13,845	△14,502
引当金の増減額(△は減少)	△782	△44,687
売上債権の増減額(△は増加)	87,831	247,601
たな卸資産の増減額(△は増加)	△138,997	△213,139
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,665	△11,769
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△52,108	△38,045
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△14,875	△29,585
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△15,749	△9,145
その他	△6,019	△7,346
小計	△125,902	△84,981
利息及び配当金の受取額	22,307	30,571
その他の収入	8,530	13,366
法人税等の支払額	△92,140	△83,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	△187,204	△125,032
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,000,000	△2,010,000
定期預金の払戻による収入	2,768,766	1,710,000
有価証券の取得による支出	△1,200,000	△1,102,627
有価証券の売却及び償還による収入	1,000,000	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	△8,145	△2,247
無形固定資産の取得による支出	△1,291	△7,640
投資有価証券の取得による支出	△409,690	△607,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	149,639	△520,030
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△74	—
配当金の支払額	△82,905	△83,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,980	△83,062
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△120,545	△728,126
現金及び現金同等物の期首残高	1,510,981	2,004,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,390,435	1,276,827

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I. 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高	458,730	332,624	257,995	552,836	213,217	354,218	2,169,623
セグメント利益又は損失(△)	130,259	79,082	45,204	94,260	△709	28,432	376,531

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高	△14,974	2,154,648
セグメント利益又は損失(△)	△391,765	△15,234

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△391,765千円には、セグメント間取引消去3,429千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△393,677千円及びその他△1,516千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	511,638	317,413	153,751	329,666	272,184	479,735	2,064,389
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	511,638	317,413	153,751	329,666	272,184	479,735	2,064,389
セグメント利益又は損失(△)	128,719	48,154	8,682	8,718	61,097	119,046	374,418

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	—	2,064,389
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,064,389
セグメント利益又は損失(△)	△389,078	△14,659

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△389,078千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△368,097千円及びその他△20,980千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	382,918	+16.6
交通システム	269,258	+6.2
特定情報システム	145,069	△31.8
組込システム	320,947	△30.0
産業・公共システム	211,086	△1.3
ITサービス	360,689	+10.7
合計	1,689,970	△5.8

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	515,559	+39.3	146,077	+145.4
交通システム	112,981	△74.8	211,063	△15.5
特定情報システム	144,418	△50.6	75,933	△45.2
組込システム	328,218	△37.6	58,584	△15.1
産業・公共システム	279,202	+31.6	56,215	+62.0
ITサービス	468,914	+24.2	128,091	△0.6
合計	1,849,294	△17.0	675,964	△0.7

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	511,638	+11.5
交通システム	317,413	△4.6
特定情報システム	153,751	△40.4
組込システム	329,666	△40.4
産業・公共システム	272,184	+27.7
ITサービス	479,735	+35.4
合計	2,064,389	△4.2

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	614,585	28.5	601,918	29.2
日立オートモティブシステムズ株式会社	—	—	235,398	11.4
株式会社東芝	377,879	17.5	217,177	10.5

- 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
- 前第2四半期連結累計期間における日立オートモティブシステムズ株式会社に対する販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満であるため記載を省略しております。